

## 【第31回～第40回 まで】

【第40回研究会】 [(2014(平成26)年7月5日(土))] 発表者：河野 憲一 氏

テキスト：上田吉一(著)『人間性の最高価値』 第1部 健康と病気

第1章 人間主義的生物学 (p.9～12)

## 〈内容の概要〉

1. 最も健康な人々(=最も創造性に富んでいる人、健康な人、聖人)は、生物学的試金石(=進歩した人間、感受性の高い認知者)として、我々のような普通の神経をもつ者に、何が価値があるのかを教えてください。
2. 健康な人を選び出せば、その人の好むものは、人類全部が好むようになる。アリストテレスは「優れた人が考えることは善であり、それこそ本当の善である」と言った。高次動機の理論は、この方法に基礎を置いたものである。
3. もし、人間が選択し、探索しようとする動物であるなら、選択し、決定する問題は、賢明さ、効能、効率の問題である。
4. 今や生物学の歴史において、我々自身の進化について責任をもつ時期に到達した。進化とは、選択すること、そのことの価値づけを意味する。

## 〈発表者からの話題提供〉

- 1) 人が誰もが健康な人間の示す価値に向かうという仮説の背景には、人間には高次価値を求める傾向、つまり「B 価値指向性」があるという前提がある。
- 2) 最高に輝くダイヤモンドに美の見本を示そうとしているようだ。路傍の石に魅了される者は美的感覚が低いというのか。咲いている桜も、散った桜も、葉桜も、その一連が美しいのではないか。次の生命をいかすために桜は散る。世代交代は新しい生命を息吹かせる生命価値をもつ。それが美しい。
- 3) 実業界での成功者は良い選択、決定をしたのか。宗教家や哲学者、文学者は効能、効率からほど遠い。実社会の成功者は、効率、効能の上に強い人脈や運もある。不遇な下であってもその人の人間性に基いた決定がなされることが豊かな人生になるのではないか。自己実現を目指そうとする人間が選択する価値基準は何かを考えたい
- 4) 生物学としての進化とは何か。「突然変異」や「自然淘汰」だけでは魚が人間にまで進化できまい。長い年月の間には、人間の意志の及ばない「何か大きいもの」(801net1 血 ggreat)の関与があるのか。強力な人間の意志か。意志の力や精神の健康性が生物学的に改善や発展に機能すると期待しているかに見える。志ある生き方、態度価値が重要だ。
- 5) 「ありのまま」は人間礼賛の東洋的思想の言葉だ。紹介したい本がある。

(1) 武者小路実篤『馬鹿一』新潮社 1970

作者はありのまま、正直に書く馬鹿一から平凡ながら個性的なものの価値をあらためて考えさせられる。道端の雑草を馬鹿一に送ると、馬鹿一はすっかり喜んで、草に「お前は詩人の処にもらわれてきて、やっと安住の地を得た。千年たつとお前は、宝石に化すであろう」と言った。

(2) 良寛

「災難にあふ時節には災難にあふがよく候。死ぬる時節には死ぬがよく候。これ災難をのがれる妙法なり」良寛は乞食坊主になり、托鉢し、汚い格好をして、子どもと手まりをついて遊んでいた。

そこでは名誉も金も、迷いも悟りも達観したと思われる。社会がありのままを受け入れる拜啓には、向上心がなく甘えているのではなく、もがき苦しみを封じていた自分を解放し、真実の有りようをあきらかにする(あきらめる=諦める)という自己肯定願望があるのではないか。

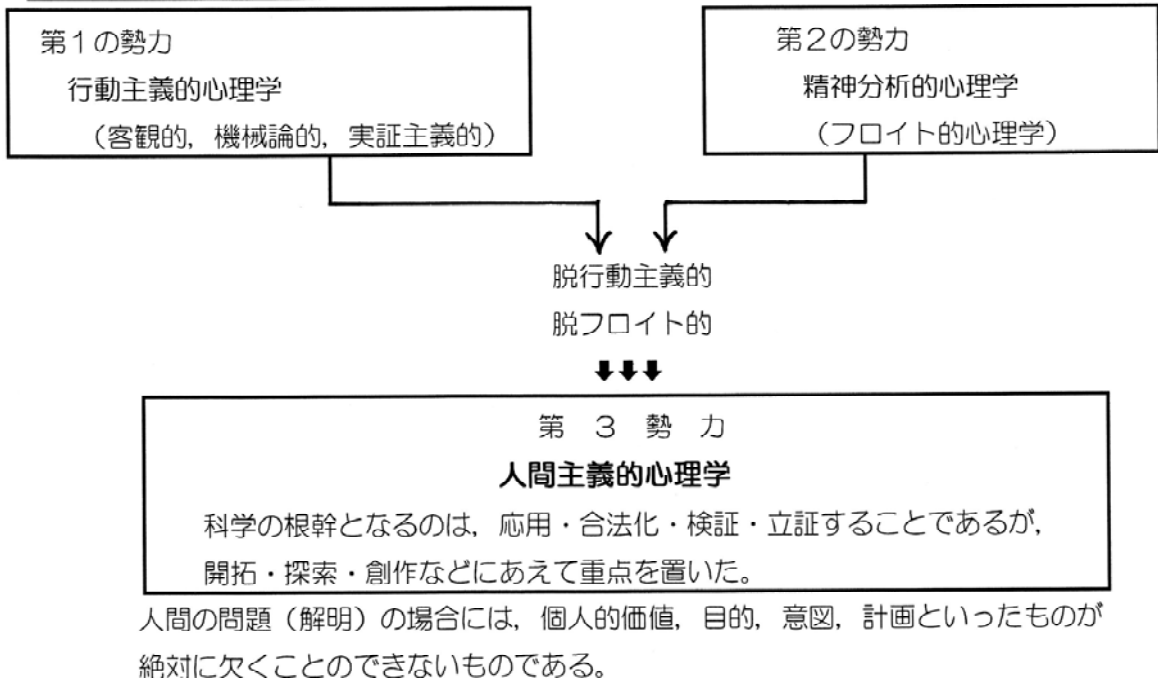
【第39回研究会】 [(2014(平成26)年5月10日(土))] 発表者：山野 晃 氏

テキスト：上田吉一(著)『人間性の最高価値』 第1部 健康と病気

第1章 人間主義的生物学 (p.3～9)

〈内容の要約〉

## 1. 人間主義的心理学はなぜ必要なのか

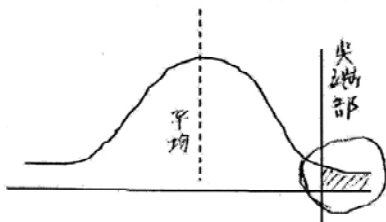


## 2. よい見本と成長する尖端統計

人類(人間)のもつ最高の能力を研究するためには, 優れたよい見本を使用し, 論議したり, 研究したりすることを提案する。= 自己実現した人間

心理学的に健康で, 心理学的に「優れた」人々は, よい認知者であり, 識別者である。

マスロー自身のブランダイス大学での調査  
ターマンの約40年に渡る多角的な研究



人間においてあらゆる望ましい特性の間には, 積極的な相関がある。

「成長する尖端統計」

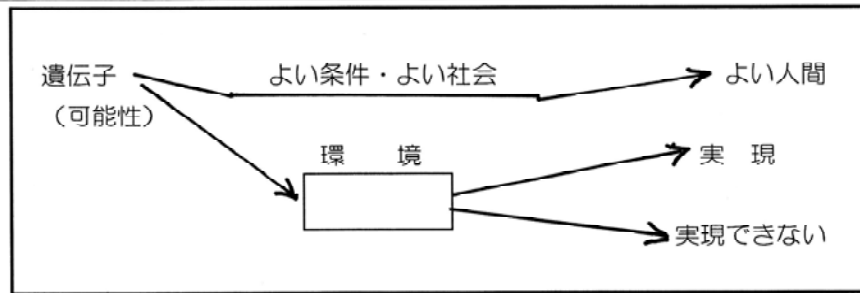
人間がどれだけ背が高くなるものか → 最も背の高い人を研究することがよい  
人間がどれだけ早く走れるものか → オリンピックの金メダリストを集め調べる  
(平均したところで何の役にも立たない)

人間の精神的成長, 価値的成長, 道徳的発達の可能性を知ろうとすれば, 最も道徳的・倫理的な成人を学べばよいと私はいいたい。

(よい見本・聖人・賢人, 歴史上の偉大な指導者が研究の対象とされる場合でさえ, 往々にして, 彼らを人間ではなく, 超自然的に付与せられたものと考えられる傾向が強かった。)

## 3. 人間主義的生物学 と よい社会

最高の人間的可能性の実現は, 「よい条件」下に置いてのみ可能である。



人間的可能性は直接「環境」によって、よい人間に「実現せられる」場合

もあれば、「実現せられない」場合もある。だから「よい社会」が必要である。

「人間の可能性の完全な発達、完全な程度の人間性を育成するような社会がよい社会」  
▽白ネズミ、サル、人間について、その幼年期の刺激的環境は、大脳皮質の発達に際し、  
一般に望ましい方向といているものにするために、極めて特殊な影響をもつ。

▽ハーローの霊長類実験所での行動研究 →同じ結論に到達

……孤立した動物は、さまざまな能力を失い、ある点以上に達すると、これらの  
喪失は、往々、回復できなくなる。

(インドの子どもたち 食生活の習慣からタンパク質が欠乏→回復の見込みのない  
脳障がいを受けている ←政治体制・歴史・経済・文化などの影響とすれば、よい  
効果を発揮できるようなよい社会を必要とする。

生物学者の使命

よい見本の発達に導くもろもろの条件と、そのような発達を阻害する諸条件をことごとく研究すること。実験室に閉じこもるのではなく、社会に入り込んでいくことが必要。

(思ったこと)

1. 「精神的健康性」とは、どんなものだろうか。
2. 小学校時代に交通事故に会い、右半身の機能を失った青年が、努力の結果、左側の機能を発揮することができるようになり、不自由ではあるが、諦めていたいろんな活動をするようになった例がある。また、青年期にいわゆる「反社会的行動」を行っていた人が、後反省をして立派に社会的に活動をしている例もたくさんある。  
これが人間のもつ「可能性」であり、〈人間この不思議な存在〉といわれるゆえんなのではないだろうか。人間は主体的な存在であり、その人その人にさまざまな可能性がある。

今回をもって上田先生ご遺稿の輪読研究は最終回になりました。思えば平成23年12月から2年2か月にわたり、ささやかながら参加者それぞれが時には発表者になり、時には解説者になり、時には指導的立場になりつつ主体的に進めてきました。これも参加者の興味関心領域の多様性と真面目な探究的態度、意欲、創造的発想によることが大きく、何よりも自由な討議を支える参加者相互の信頼感、温かな会の雰囲気が研究会の継続を可能ならしめてきたと思われまます。まさに「人間性心理学」の名の通り、人間的な心理学研究会だと自画自賛しております。

本会は4月から新たなテキストを中心にマズロー心理学の研究を進めて参りたいと存じますので、よろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

〔周囲の人びととのつながり〕

自己実現の教育のための条件

- ① 欲求満足, ② 精神の健康性, ③ 課題への集中, ④ 挫折体験,

- ①・食欲を始めとする生理的欲求・安全欲求・愛情欲求  
⇒両親や年長者の療育や保護を通じて満たされ、
- ・所属欲求・尊重欲求・知的欲求  
⇒教師や級友の信頼と受容によって満足されることが  
人間の成長を促進する決定的条件
- ② 母親をはじめ周囲の大人との人間関係を通じて無意識的に形成される。
- ③ 〈周囲の人びとの興味や関心の模倣・同一化〉〈挑戦・競争といった刺激〉〈協力・支持といった援助〉を通じて、特定の課題に熱中できるようになる。

〔兄弟げんかの効用〕

- ・挫折体験は、人間関係の中で得られる。一人っ子は、それ自体が問題であるとまで言われる。兄弟げんかは、互いが挫折体験を繰り返しており、そのなかで他者に対する尊重と理解の態度が育っていく。
- ・人間関係は、深層より（から）高層まで、立体的にとらえねばならない。
- ・特に、深層の無意識的段階における人間関係は、教育的に重要である。

「中学生の作文」

僕たちは、5,6人で敵味方に分かれて石投げごっこをした。すると、僕の投げた石がA君の目の横に当たった。僕は「しまった!」と思ったが、もう後のまつりだった。その当たった子は、お母さんと呼んできて、僕のお母さんに言った。僕が暗くなって帰ると、お母さんは「おまえなんか、出てゆけ」と言った。「出て行く」と言って、さびしい途を平気で歩いた。僕は誰かが後をつけているように思われたので、立ち止まると、お母さんが後から追いかけてきた。僕は、走った。僕はとうとうつかまった。お母さんは「ごめんね」と言った。僕は泣いた。

⇐ 母親の叱責と子どもの反抗→→→表面的なもの。  
→→→無意識的基底では、むすび合わさっている。  
親子の葛藤よりもむしろ精神的結びつきが  
いかに強いかを示している。

〔親の信頼感が子どもの自信に〕

- ・表面的には喧々諤々で争っていても、深層でつながっている場合もあれば、逆に表面できれいごとを言っている、深層では断絶のある場合もある。
- ・〔(A)共感、(B)感化、(C)同一化、(D)投影、(E)転移など〕の心理学的メカニズムは、人間形成に言語以上の大きな役割を演ずる。  
大人が自信を失い、自己嫌悪に陥ったり、劣等感にとらわれたりすると、感情が子どもに「投影」され、子どもに対する不信感になり、態度も厳しくなる。  
子どもは大人と「同一化」しているので、子ども自身も自己への信頼（自信）を失う。  
大人が自己受容をし、自己に対する信頼をもてば、子どもに対する信頼感となり、子どももまた自信をもつ。

〈例〉子どもの欠点を非難している教育ママは、それは本来親自身のもつ欠点に嫌悪感をもち、鞭打っている。自己については、認めたくないため、「抑圧」しており、自分を「同一化」している子どもに「投影」し、欠点を過大に見ている。親自身の人格上の問題の子どもへの「転嫁」に過ぎず、子どもの人格向上には役立たないと考えられる。

⇓⇓

自己実現の教育において、親や教師の自己修養、自己分析が重要である。

〔外からの刺激に応える行動と自己を表現する行動〕

- ・対応的行動……明確な目的を持ち、その主導のもとに、これに対して個人が一定の意図にもとついて自己統制しながら、効果的に立ち向かってゆく行動
- ・表現的行動……それほど対象を意識せず、自己を自由に表出する自発的行動

〔特定の問題から正当を求めると、多様な曖昧刺激から個性と創造性を引き出すか〕

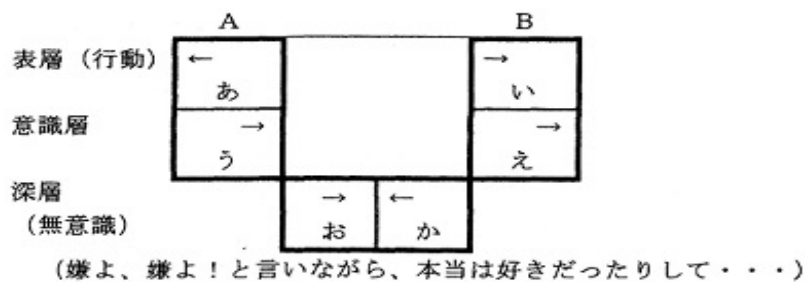
- 学校は、教育経験を構造化し、体系的組織的に習得させようとする。
  - 知識体系の習得、適応能力の発達面で有意義
  - × 画一的で、個性の入る余地がない
- 「同一の解答が要求され、その解答を得るためには、誰であってもよい」
- 曖昧で、とらえどころがなく、そのために興味関心をそそられる教育の場
- 素材のみがあたえられる場合、自己の構想、個性が全面的に投影される  
⇒新しい価値を創造する

〔自由裁量の時間の必要性〕

- 教育の場においては、時に外からの教育的な働きかけを最小限にとどめ、子どもに全面的な自由を与える機会を設けることが望まれるのである。
- 創造性教育=人格の全面的な発達を通して、個性を表現する教科の必要性を強調

## ① いろいろな人間関係

図1 表面的な行動や意識面では離れていても、深層でつながっている



この他

- ② 表面的な行動は一致していても、意識層や深層では乖離がある。(同床異夢)
- ③ 1 表面的な行動や意識面、深層でもつながっている。(相思相愛)
- ④ 表面的な行動や深層ではつながっているが、意識面だけ離れている。(偏向した自己愛)・・・など

## ② いかにして深層において、つながることが可能か

仮説① 深層は容易には変わらない。上層を合わせるにより下層を動かしていく。

(1) 表層(行動)を一致させる

忘年会などの共食 (C)、キャンプなど体験の共有 (A)、国旗などのシンボル (C)、接触回数を増やす・ミラー効果 (C) …

(2) 意識層を一致させる

教育 (B)、感動の共有：同じ楽天主観 (C/D/E)・ジェットコースター (A)、所属意識の高揚：クラス対抗試合・県人会など (A/C) …

※ 深層をつなぐには、〔(A) 共感、(B) 感化、(C) 同一化、(D) 投影、(E) 転移など〕の心理学的メカニズムを促す環境を整備する。

## ③ 最深層において、つながる可能性があるか →ある。

ユングの「集合的無意識」によると、さらなる深層部では、人間のみならず、他の動植物ともつながっているという。だから、人は犬や猫の気持ち、リンゴの気持ちまでも分かる？ ⇨ ⑥

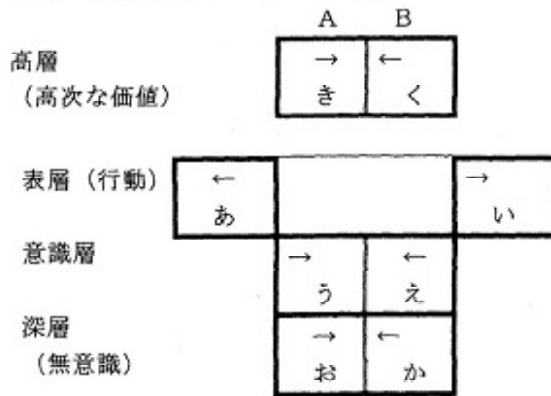
## ④ 高層において、つながる可能性があるか →ある。

民族間の様々な対立を超えて、あらゆる人間の欲求には高次価値の実現へ指向されている側面がある。これは、マズロー理論の根幹である。(B価値)

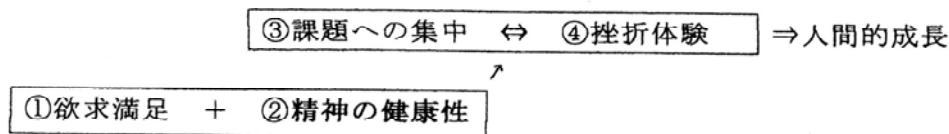
仮説② 最上層 (B価値) への指向により、その下位層での多少の乖離が改善される。

(3) 高次価値を一致させる

図2 高次価値でつながる人間関係



### ⑤ 結局、「人間的な教育のあり方」とは



「欲求満足」が基盤にあり、欲求を高次に導くには「精神の健康性」が大切であり、これが「課題への集中」や「挫折体験」を通じて「人間的な成長」を可能にする。

個性を自由に表出する自発的行動(表現行動)を重視し、自由裁量の時間を増やすことで、人格の全面的な発達を期す。(→創造性教育)

### ⑥ 集合的無意識 (普遍的無意識)

ユングによる分析心理学の用語。人類に共通している心の層である。ユングは無意識を二つに分けて考えた。個人的無意識——個人の中で忘れてしまった記憶の内容、意識によって抑圧された内容(性欲・殺人願望他)など。普遍的無意識——人類に共通している心の層。全世界に共通している神話的なイメージ(どの国にも神話や伝説が存在している)。われわれの祖先の経験が遺伝したものと考えられている。

※「集合的無意識 (普遍的無意識)」は、より深い無意識の層。個人の体験を超えて、民族や人類にさえ共通するといわれます。宇宙樹のようなものを考えた場合、根や根に近い幹の部分が集合的無意識。枝やそれにつながる幹の部分が、個人的無意識。枝の先っぽが、自我となるでしょうか。大きな木、大きすぎる存在は、そのすべてを見ることができない。見えるのは、枝の先や、そこに咲く花、実など。しかし、それらを迎れば、枝は幹につながり、幹は根につながっている。そして根は、より広い大地につながっているのかもしれない。集合的無意識とはつまり、「個人的な経験を超えた集団・人類などの集合体が根底に持つ(共通の)無意識の領域」、「個人的な枠を超えた、普遍的な領域」といえるでしょうか。人間というものを見ていくと、個人的な経験を超えたパターンのようなものが見えてきます。共通する型が見えてくる。それが「元型」なのですが、その元型があるのが、集合的無意識というわけ。この集合的無意識の考え方はユング心理学の特徴と言えるもので、ここに「可能性に対して開かれた態度」の基礎があるように思います。可能性を何らかの枠組みに閉じ込めることなく、人類共通の領域にまで広げている点は、私がユング心理学に惹かれる大きな理由のひとつです。ひとりの人間を語る時、それは個人的な経験が強く影響する。しかし、その一方で、個人的な経験を超えた何か、影響していることもあるようです。人間は、広く一般的な特徴を持つとともに、個別の特徴も持ちます。なので、その両方を無視できない。無意識についても同じことが言え、個人の体験が関係した無意識と、それを超えた、もっと広く共通した無意識があるのです。無意識といえば、人間の生命活動を維持しているのも、無意識的な働きによるものです。人は呼吸や体温維持などを、いちいち意識してやってはいません。(深呼吸やコートを羽織るなどは、するものの)そしてそれは、個人の生命を維持するものであるとともに、人類に共通した働きでもあります。目に見える範囲では、個人用のもの。でも、その根底にあるのは、人類共通のもので、世界中に似通った神話が存在したり、特定の生物が学習なしにある種の傾向を示すのは、この集合的無意識によるものだと言われています。(昆虫などが独特な餌の捕り方を教えられることなく体現したり、天敵の存在を生まれながらに知っていたり——そういうのも、集合的無意識のおかげだとされています)我々人類を考えても、自我は各個人によって違うわけですが、無意識の深遠、集合的無意識ではつながっており、そこに共通の「型」が存在するために、地域や文化が違うにもかかわらず、似通った神話や伝承が存在すると仮定でき

ます。

(※インターネット starpalatina.sakura.ne.jp/kouza/04.html (2014年2月7日)「無意識の領域、元型、影 やさしいユング心理学4【城太郎日記】」より引用)

-----  
**【第37回研究会】** [(2014(平成26)年1月11日(土)) 発表者: 中川 昌信 氏  
テキスト: 上田吉一(著) 『ご遺稿』 第9章 人間的な教育の在り方(前回の続き)]

～～ 第1部「上田先生遺稿 第9章 人間的な教育の在り方」の要約 ～～

Ⅱ 欲求満足 of 教育 (前回発表報告のつづき)

これは、人間形成のうえで、最も効果的で可能性の大きな方法で重要である。それは

- (1) 欲求の満足により、人格エネルギーが高められるからである。
  - ① 欲求階層の上昇
  - ② 向上意欲の増大
  - ③ アイデンティティの確立
  - ④ 価値意識の支配
  - ⑤ 環境からの自由と独立
  - ⑥ 受容と肯定への転換
- (2) 欲求満足の指導原理として
  - ① 子どもの求めている真の欲求理解を鋭い観察と力動的な解釈で
  - ② 子どもの言い分を徹底的に聞く ーよい聴き手に徹するー
  - ③ 子どもの欲求満足には精神的な愛情の満足が必要
  - ④ 子どものもつ活動性を満足させる
  - ⑤ 子どもに対する信頼感が基本となる

しかし

- (3) 欲求満足の教育は、精神衛生的配慮を欠くと、人間形成にプラスとはならない。次の諸点に配慮して人間性を回復していかねばならない。
  - ① 現代の青年は価値的欲求を満たせる社会にいない。
  - ② 人格内の病理的構造によって欲求が無限に肥大したままで、人格向上への意欲と結びつかない溺愛型の人間をつくっている。
  - ③ 深刻な葛藤によって人格の統一性が失われ、創造性や生産性を阻害する場合がある。
  - ④ よい音楽のように人間性の法則に従った刺激が必要。
  - ⑤ 個性に応じた指導で一人ひとりを生かす指導が必要。
  - ⑥ 身体条件を改善する。親は子どもに過大な期待をよせない。
- (4) ただし、欲求満足の教育は子どもの意識的な願望を満足させる教育ではない。  
動物を虐待する傾向、破壊性、独占欲などは子どもの本来持っている欲求とは全く裏返しの病的原理であり、これに対しては挫折を持つことが自己実現の途である。成長する過程で挫折体験をもつことで苦悩を超越する力をもつことが自己実現へと向かう能力を高めることになる。ただ、一般に挫折体験は子どもが成長する過程によって自ら学んでいくもので、決して大人が与えるものではない。この点、集団生活は極めて重要な教育的意味をもつ。

～～ 第2部 中川氏の現役時代の実践から ～～

以下は当時の芝田校長の指導のもとで学校改革に取り組んだ共同研究の概要である。

- (1) 学習の4原理を設定して ー自主協同学習の基本原則ー
  - 自発化の原理 ー一人に言われなくても進んで勉強できる子ども  
具体的手立て…ジョイントの設定で問題意識の連続的発展
  - 個別化の原理 ー全体のなかの一人という自覚を持ち、自分の考えをしっかりとつ子ども  
具体的手立て…ノートの使い方
  - 協同化の原理 ーみんなで助け合い、分け与える子ども  
具体的手立て…グループでの話し合い、活動
  - 集団化の原理 ーひとりの考え、ひとりの意見が、みんな自分のものになるように、磨き合って高まろうとする子ども  
具体的手立て…一全体での話し合い。一問連続応答。以上を可能にするための生徒指導、学級経営の充実
- (2) 自発化を促進させる授業  
問題意識の連続的発展、ジョイント、拮抗、集中と爆発、座席表の活用、つぶやき
- (3) 受験準備教育から脱皮 ー教育改革ー
  - ・子ども中心の授業

「一に体力、二に気力、三に学力ぐんぐんのびる」を合言葉にして。  
臨海学習、遠泳、鍛練遠足、自然学校、自由研究、花いっぱい運動、  
体力をつけるための体育設備の工夫。

- 教師の研修  
先進校の視察、一人一研究、授業公開と授業研究
- 学校行事の見直し
- 保護者の啓発

(4) 当時の校長の学校経営五つの願い

- 1 美しい学校 一生命愛育の根に培う努力ー  
ゴミのない学校、世界の名画の掲示、一人一鉢の花づくり、動物飼育
- 2 楽しい学校 一人間関係づくりへの努力ー  
「信」の一字に徹する、学級づくりの努力、健康な遊び・スポーツ、歌を大事に、
- 3 豊かな学校 一学習革命への努力ー  
環境づくり、資料室づくり、
- 4 明るい学校 一運営の民主化、合理化、能率化への努力ー  
かげのない運営、明るく温かい善意に満ちた学校
- 5 厳しい学校 一校風樹立への努力ー  
校風の樹立、研修活動

(6) 評価ー競争の原理から達成の原理(自分との闘い)へ

～～ 第3部 教師の人間的な教育を妨げるもの ～～

ー教職の困難性(再帰性、不確実性、無境界性)ー

文科省の実態調査によると、他の職に比して職務に使命感をもつ教師の割合が一般企業の2倍。しかし、勤務時間外の仕事が多い、が一般企業の2倍、気持ちが沈んで憂鬱というのが一般企業の3倍。平成21年の早期退職者が13000人で定年退職者数と同じ。654人が在職中に死亡。懸命に取り組んだ結果、バーンアウトし、人間性喪失の現状。

【第36回研究会】 [(2013(平成25)年11月9日(土))] 発表者：松山 哲也 氏

テキスト：上田吉一(著) 『ご遺稿』 第9章 人間的な教育の在り方

1. 教育の目標

〈本文の要旨〉

教育心理学が時代の脚光を浴びているのは心理学に対する期待の表れである。心理学は教育に対して単に技術的知識のみならず、発達・教授学習・人格適応・評価測定の大領域の知見から、さらには人間像や教育観等、教育の目的まで何らかの示唆を与えるものと期待されている。人間主義心理学、特にマズロー心理学は、これまでの伝統的な心理学と異なり、教育の理念や目標といった、従来教育哲学の課題とされていた事柄に心理学的な側面から探求し、教育のめざす人間像について徹底した考察を行った唯一の心理学である。マズロー心理学が求める人間像は健康で欠乏欲求がすでに満たされ、成長欲求に基づいて真善美といった価値をそれ自体唯一の目標として求める人格である。人間性自体にある可能性を実現することによって、いわゆる「完全なる人間」にまで到達していくところに教育の存在を認める。

〈松山氏の問題提起〉

- ① 教育心理学は果たして今でも時代の脚光を浴び、役立っているのか。臨床心理学＝教育心理学の感がある。サイコバブル現象、心理学の現実化ではないか。依田、正木論争を想起してほしい。
- ② 臨床心理学が教育に入りすぎているのではないか。教育の中に発生する諸問題を解決する手段を安易に臨床心理学に求めすぎているのではないか。
- ③ 教育技術や方法は様々に研究され実践されているが、目的が明確でなく、哲学や思想がないのが多い。
- ④ 成長欲求を阻害するものとして
  - ア 病理的な形での欲求の充足
  - イ 欲求そのものの麻痺
  - ウ 欠乏欲求の際限ない充足

松山氏は、現在取り組んでいる子どもたちの教育の実態から論を進め、健康でより高次の欲求へ進む形



で、欲求が充足されていくことが、すなわち成長欲求であり、教育や心理学の大きな目標ではないかと、結んだ。

#### 〈話し合い〉

- ア 教員養成大学での教育心理学の授業の現状はどうなっているのか。
- イ 教育心理学の教育での役割や学校心理学についてもっと検討したい。
- ウ 教育における目標設定や心の教育との関連について聞きたい。
- エ 大学での教師養成で「教えること」と「育てること」に大別して考えている。前者は知識、技術、伝達力で、これは社会の要請に応える教育だ。後者は個を尊重し、本人のやりたいことを優先することで、待つことを大切に、話し合いなどで社会性の育ちを支援する。
- オ 臨床心理学を浅く解釈してタイプ分けで済ませる傾向があり、多忙になると、どうしても結果主義になり、子どもの中に十分入っていけない。
- カ 大学でも自閉症傾向の孤独、過保護による自己顕示の強い学生がいる。

---

【第35回研究会】 [(2013(平成25)年11月9日(土))] 発表者： 浜崎 順子 氏  
テキスト：上田吉一(著) 『ご遺稿』 第8章 マスローの求める理想社会

#### 〈要旨・要約〉

##### 「マスローのユートピア概念」

ユーサイキアを構成する精神的に健康な人々は、不安や恐れを克服し、未来志向性の生き方をする人である。精神的に豊かな人は創造性が豊かである。人間に先天的に真・善・美を求めようとする傾向がある。

この本性を表現できるような環境づくりを図ることがわれわれの仕事であり、これがマスローのいうユーサイキアである。しかし、人間が本来有しているよい本性は弱くて脆いので、教育や自己治療が大きな役割をもつ。そして、社会が自由で寛容でなければならないし、個人の利益が同時に社会愛全体にも役立つというハイシナジー文化をもつ必要がある。

#### 〈所 感〉

- △ 自己のうちに価値を認識することが大切とあるが、価値観の違いで人間関係がうまくいかないことがある。もっと自己を見つめることか。
- △ 環境が人をつくるのか、人が環境をつくるのか。
- △ 「いじめ」「嫉妬」はなくなる。それでも理想社会は実現するのか。
- △ ユートピアとユーサイキアの違いはなにか。
- △ マスローの求めている理想社会に近づけるのか。石井さんの活躍や昔の村の助け合いがあるが・・・

#### 〈話し合い〉

- ◇ ユートピアは社会全体の幸福を求めるのに対し、ユーサイキアはその前提として個人の精神的健康性を問題にする。
- ◇ 結果としての成果をねらうのではなく、過程を重視するとあるが、現実はあまりにも結果を出さねばと、苦勞することが多い。
- ◇ よい個人がよい社会を生む。よい国民がよい国家をつくる。そして愛国主義、国家主義、民主主義を超越し、人類全体に関心をもつ真の国際人になる。となると、やはり個人の確立が大切だ。それはそれでいいが、みんなで努力して築いた〈国〉の恩恵をもっと意識すべきだ。外国旅行のとき、この人の安全を保証してほしい、という日本国のパスポートを見た時や、円の価値を知る時など痛感するが、マスローから言わせれば視野が狭いのだろう。国とはいかなくても、便利な生活をさせてくれている目に見えない社会の恩恵がある。雪の降りしきる中、高い鉄柱に登って、修理してくれる人がいる。
- ◇ 最近の食品の偽装とか鉄道の保線放置のニュースを見ると、ばれなければいいという心が根底にあり、ユーサイキアにほど遠い。
- ◇ 個人と社会、国民と国家、嫁と姑、教師と生徒、親と子、夫と妻、兄と弟、社長と社員など、二者関係を整理する時に有効な手法としてよく使われるのが構図である。この図で第1象限に布置するのが良い関係で、第3象限に布置するのは両者の関係が破綻しているとされる。だから第1象限に布置するようにいろいろ努力していくのである。
- ◇ シナジー関係の一つといえるが、日本古来の「三方善し」の考えもある。京都の老舗の主人は常にまずお客、二番目に職人、三番目に世間を考えた。校長はまず、子ども、二番目に教師、三番目に親・地

域を考えるべきだろう。自他ともに、が大切だ。

- ◇ マスローの『人間性の最高価値』に「ユースカイア経営法」が書かれている。「人間性を健やかに、より豊かに、才能をより完全にするためには、どのような職業条件、職種、経営法で、どれほどの報酬または給料が必要か、つまり人間の願望を満たすのにどんな職業条件が最良であるかということである。人間は満たされれば、今度はより高次の、所属・権威・尊重・感謝・名誉のほか、自己実現への機会や最高の価値観の育成によって動かされるのである。いばりたがる資本家や自由主義者に考えてほしい。」

---

【第34回研究会】 [(2013(平成25)年10月26日(土))] 発表者：森 光巧悟 氏  
テキスト：上田吉一(著) 『ご遺稿』 第7章 自己実現を超えて (前回の続き)

〈遺稿の要旨〉

- (1) アイデンティティの確立 超越的人間はアイデンティティを拡大し、宇宙全体の営みのすべてを自己に包み込む。
- (2) 自由な存在 超越的人間の感じる自由は何の束縛もなく、自分の能力を余すところなく発揮する。
- (3) 無心 動機はもはや存在しない。動機を持たなくなる。
- (4) 則非の論理 AはAに非ず、故にAなり

〈森氏からの問題提起〉

- (1) 物理学でいう「エネルギー不滅の法則」と考えてよいのか。
  - (2) 自らの良心の掟もなくなっていくのか。
  - (3) 動機がなければ、今後何をするのか。
- 総じて、今回のところは、深い意味が含まれている。

〈話し合い〉

- 本日のところは、マスローの超越論として、トランスパーソナル心理学の基礎になっている。
- マスローとしては、東洋思想にふれ、新たな学問のスタートとしたところだ。
- 即非の論理は、いったん物事を否定し、改めて物事の本質を極め、認識を深めるのであろう。
- 鈴木大拙や「靈性」「直覚」の言葉がでていますが、これを詳しく理解するためには、鈴木大拙の著作をみる必要がある。その一つは、中央公論社発行の『日本の名著 43 清沢満之、鈴木大拙』のp239～341に書かれている「日本的靈性」が参考になる。靈性は精神を超越した無分別智で、日本的靈性は鎌倉時代に発し、民衆に根ざした大地性をもつという。
- 靈魂の不滅かどうか、議論があるところだ。しかし、そんなに難しく考えなくても、教育問題に限っても、素晴らしい先人の理念や実践は、しっかり継承していかなければならない。
- この夏、福井で話をする機会があり、福井での有名な実践家の名をご存じかどうか尋ねたところ、大正時代の人で無理もなかったが、100人ほどの中でたった1人しか知っている人がいなかった。文化の継承は人間ならでのことだ。
- 先日亡くなられた校長先生は、問題意識の連続的発展の授業を主張されていた。この考えはぜひ継承したい。しかし、もっと大切なことは、その校長先生が何のために主張されたかだ。私がいた小学校は、灘高、東大への玄関口としての名声を誇り、そこで行われていた教育は教師中心の知育偏重の教育だった。明治以来の、欧米の文化水準に早く追いつけの教育ではよかったかもしれないが、未来に生きる創造性のある人物は到底、このような教育では育たないと、親の反発を覚悟して、蛮勇を奮って子どもの自発性を育てる自主協同学習を提唱された。有名中学に一人でも多く入れてほしい、というのが親のニーズだったが、あえて教育改革を断行されたのである。教育技術の模倣ではなく、改革への意気込み、魂というものこそ、継承すべきではないか。時代は変わって技術は変わっても改革すべき課題はあるはずだからだ。
- 「問題の解答力」よりも「解決力」が必要だ。解決力は、むずかしい問題から取り組むし、自分で問題を見つけなければならぬし、時には正答は一つでなく複数のときもある。悪しき官僚は解答力のみ優れている。単なる統計の操作のみにも頼れない。

〈遺稿要旨〉(前回の続き)

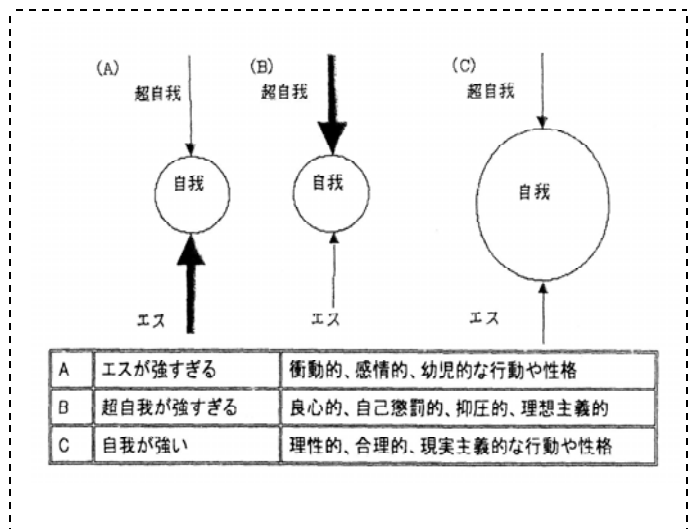
- 10 自己の弱さ、依頼心を克服する。一般的に人は弱い者には強く、強い者には弱い。超越者はどのような人に対しても人間同士の平等な関係を結ぶ。
- 11 現実認識を越える。超越者は狭い視野に立って現状と妥協した結果生じた中途半端な結末に束縛されるのを好まない。常に未来を指向し、崇高な普遍的原理を求め続ける。
- 12 世の中は、常に対立する二元性をもって捉えられることが多いが、超越者は二元性の世界を統一する。
- 13 超越者は何が何でも自己の意思を通そうとせず、甘んじて自己の運命に従い、敢えてこれの逆らおうとしない。
- 14 超越者は物事を否定的に考えたり行動したりせず、善も悪もともに許す。
- 15 超越者は世界全体、人類全体と自己を同一視し、すべての世界にわたって普遍的に生きる存在として空間の意識も希薄になる。
- 16 超越者は個人差を越えて共通性を尊重する。基本的人権は人類全体に共通しており、社会的に有罪な犯罪者でも同じ。
- 17 超越者は人間の不完全性を克服し、寛容で全知全能の存在になることができる。
- 18 超越者は排他主義をとらず、自己の信条や価値観を変えることにやぶさかではない。

〈藤原氏からの問題提起〉

- 1) フロイトは衝動体系と抑圧体系から説明しようとした、とあるがその意味は。
- 2) 死刑廃止論者で、生命を奪うことに否定的とあり、心情的に理解できるが、どう理論化するか。
- 3) 10と13と18の前半は同じ内容ではないか。
- 4) 12と14と18の後半は同じ内容ではないか。

〈話し合い〉

- ▽ 処刑が終っても、遺族の心は癒されない。凶悪犯の人間も神の如き心になっていく、といっても、遺族の心は癒されない。超越者はそれでも敢えて赦すのか。
- ▽ フロイトの精神構造論では、衝動と抑圧との対立葛藤から多くの神経症を説明しようとしたのであるが、大切なことは、このような西洋の科学や哲学がとっている分析的な手法ではなく、超越者はむしろ 東洋思想をとり入れ、人生のあらゆる矛盾や二律背反を一段と高い立場から統一しようとするのだ。
- ▽ 14のところで「必然性を認める」とあるが通常生徒指導という子どもの問題行動の背景を知るといふ解釈でよいのか。
- ▽ そうだと思う。親鸞の「悪人正機」の考えを思い出した。
- ▽ 子どもの「背景」を考えることは大切だが教師として家庭の厳しい背景に立ち入れる限界を感じる時がある。せめて、学校に來ている時だけでも楽しいと言われたい。
- ▽ この章でも、やはり羅列的な論述が目立つ。
- ▽ 我々凡人はとても超越者にはなれないが、その方向に努力したいとは思ふ。実際、妥協しながら、波風立てに日を送っている。



フロイトは多くの精神分析治療を通して、人間の心の世界は「セス」「自我」「超自我」という3つの招致によって構造化されている、と考えた。

### 〈遺稿要旨〉

超越的人間というのは、雲の上の人とか神や仏を意味するものと考えられがちであるが間違いだ。われわれの周囲にも、自身のうちにも存在する人間である。感謝の気持ちを持ち、敬虔な生活態度が特徴である。超越的人間は様々な条件を克服している。それを列挙すると、

- ① 自分についての意識から離れ、無我の境地にある。
- ② 時間についての制約を持たず、絶対的普遍の世界で過去とも未来ともつながる。
- ③ 文化の多様性を認識するも、その影響から脱却している。
- ④ 過去から脱却し、過去の事態を引きずらない。
- ⑤ 利己主義から決別し、利他が協働する。
- ⑥ 死や病気の苦悩を超越する。
- ⑦ 束縛から解放され、悪や無法に耐える覚悟がある。
- ⑧ 他人の見解を無条件には受け入れない。
- ⑨ 精神分析という上位自我（超自我）にはとらわれない。

### 〈河野氏からの話題提起〉

- 1 まるで現代医学が非人間的であるかのような表現がある。
- 2 自我を忘れて無我の境地になるのが超越とあるが、ある目的のために自己を忘れるのではない。自我の拡大発展の結果だと思う。
- 3 時間の超越とは永遠に変わらないのではなく、瞬時にも変わるなかで、その変化の奥にある真の思想の持ち主が超越者ではないか。
- 4 大木は根が張っている元の地面が見えない、とあるが、巨根も豊かな土壌も共に畏怖の念で眺められねばと思う。人もその人を育てた精神的文化的風土も評価したい。
- 5 超越者にとって、生命は永遠に生き続ける存在とあるが、この生命は個体としてでなく宇宙的な生命の視点だろうか。そうだとすれば、科学を超えて悠久の過去と永遠の未来との間に因果関係を認めようとするのであり、そのことは我々人間の意思や想像の力によるものである。この超越した意思や想像力の持ち主こそが超越者であり、その視線の先には宇宙意生命や宇宙意思といった「何か偉大なもの」の存在があるのだろうか。
- 6 協働といっても自他の自我がある限り、我欲がある限り完全な超越とはいえない。超越には超越への過程と完全な超越の二つがあるのではないか。

### 〈話し合い〉

天皇陛下の心臓手術を淡々と執刀した天野教授の心箋、冒険家・三浦雄一郎の生き方、認知症の人と超越者とのちがい、望ましいカウンセラーのありかた、多様性の尊重、タヒチの文化に接して自己の芸域を拡大させた画家、個の確立、自己実現では、過程の大切さなどが話し合われました。

〔余録〕 天皇陛下の執刀医の驚きの経歴 — 3年の浪人を経て日大医学部卒業。心臓外科医を志すきっかけは高校時代に父親が心臓弁膜症の手術を受けたこと。各病院を渡り歩いて武者修行を重ね「冠動脈バイパス術のスペシャリスト」の評価を得てきた。指導した先輩よりも手術がうまくなり、関係が悪化してクビになったことがある。これまで約 5500 件の心臓手術を手掛けている。このうち約 4000 件は冠動脈バイパス手術でオフポンプ手術は約 3200 件。過去に在籍した病院では、一人で年間 400 件の手術をこなした。テレビでは平成のゴッドハンドとして紹介されたことがある。—

以上はインターネット情報。天野教授が手術が成功したかどうかは術後の患者さんが日常の生活を取り戻した状態を以って成功と言えると言ったのは確かにそうなのでしょう。最近の天皇陛下のご様子から考えると、手術は完全に成功したといえるのでしょう。

---

【第31回研究会】 [(2013(平成 25)年6月22日(土))] 発表者： 山野 晃 氏

テキスト：上田吉一(著) 『ご遺稿』 第6章マスローの警告する高次の病気

2. 健康性と B 価値 について (前々回の続きからこの節の終わりまで)

### 1. 遺稿の要旨

欠乏欲求の人は価値追求のポーズをとる。外見上は価値的なものを求めようとしているが、その真の動機は欠乏欲求の人格。もしくは手段としての欲求。しかし、成長性の人は本能的に価値を求める。真理を

他の動機的手段としてではなく、それ自体知的好奇心の結果として探索しようとする。

結論として、心身の機能が十分に働くか否か、旺盛な活動産欲が見られるか否かは、その個人の前途にどのような希望をもっているかによって決定される。

## 2. 山野氏からの問題提起

- ◇ 教育のなかで、いかにして成長性を育てていくか、その方法は？
- ◇ 人には好不調の波がある。好調なときは成長性が見られるが、不調のときは、そうはいかないので、いかに好調を持続させるか？

## 3. 話し合い

- ★ 以前、ブルーナーの『教育の過程』が大きな話題になった時がある。学ぶ教材そのも毛のに興味と関心をもたせる。教え方によっては、小学生でも高度な物理や数学の内容の学習が可能とされた。子どもには、本来的に価値追求の欲求があり、それを引き出すのが教育だ。
- ★ 不調の子には、徹底して個別に寄り添って励ましていくことが大切だ。成績のいいときだけちやほやするのでなく、いかなる状況でもその子どもをまるごと受容していく優しさが必要。教師が落ち込んだ子どもにとって希望の星にもなりえる。
- ★ 夢や希望は、生きる力になり、生き甲斐にもなる。これを育むことが大切だが、もう一歩進めて、一人ひとりがその希望の存在になってほしいという願いもある。ここで阿久悠が作詞した「あの鐘を鳴らすなはあなた」を紹介したい。森田公一が作曲し、和田アキ子がパンチを効かせて歌い上げた。ケネディは「国があなたに何をするかでなく、あなたが国に何をするかだ」と言った。

あなたに逢えてよかった  
あなたには希望の匂いがする  
つまずいて 傷ついて 泣きさげんでも  
爽やかな希望のにおいがする  
町は今 眠りの中  
あの鐘を鳴らすのは あなた  
人はみな 悩みの中  
あの鐘を鳴らすのは あなた

あなたに逢えてよかった  
愛し合う心が戻ってくる  
やさしさや いたわりや ふれあうことを  
信じたい心が戻ってくる  
町は今 砂漠の中  
あの鐘を鳴らすのは あなた  
人はみな 孤独の中  
あの鐘を鳴らすのはあなた